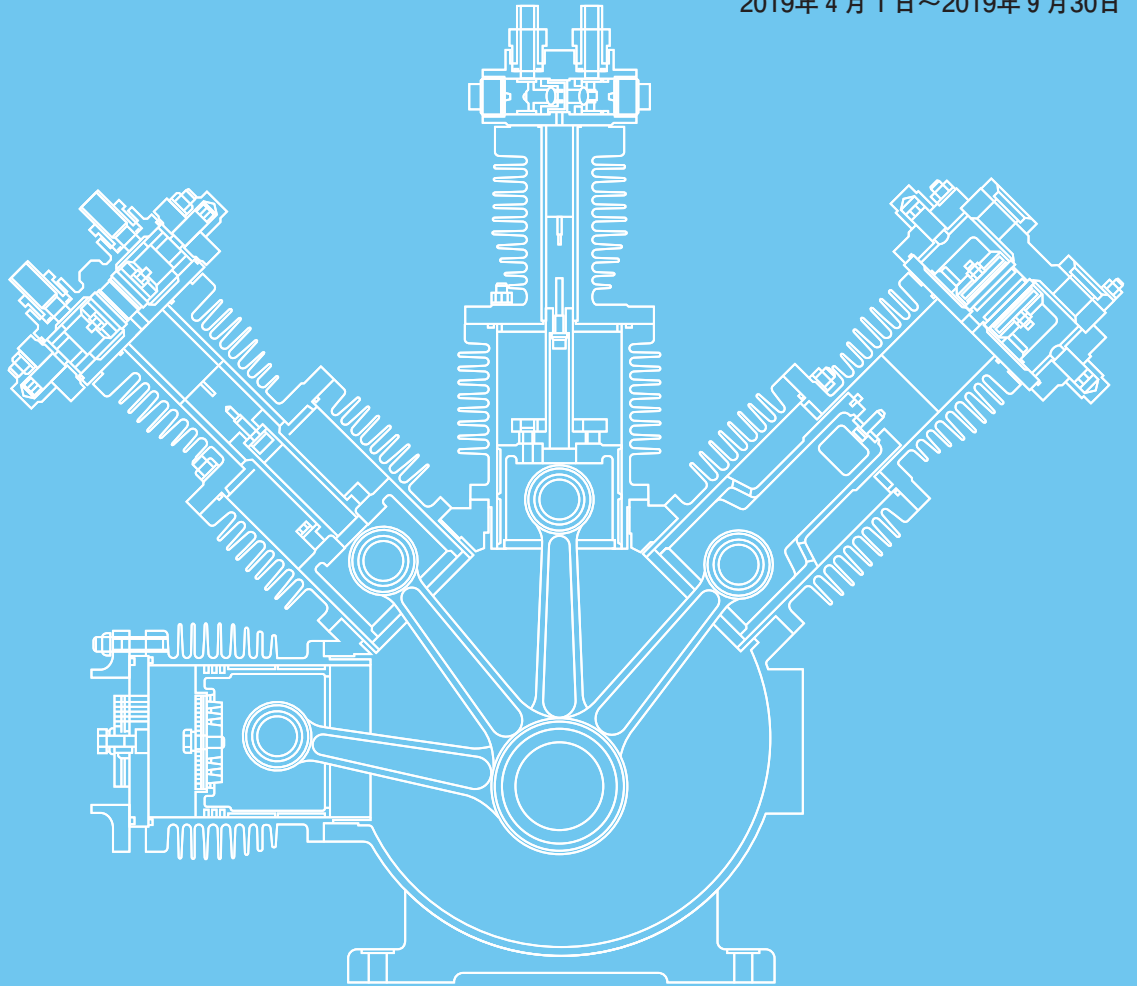


# 株主通信

## 第87期中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しており  
ます。



株式会社加地テック

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに2019年度中間期の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当中間期における当社業績は、海外市場における石油精製・石油化学案件の大口売上に加え水素関連及びPETボトル成形用案件の増加及びアフターサービスの部品売上増等により、売上高は前年同期比11.1%増の2,391百万円となりました。一方、売上高は増加したものの、採算の厳しい案件が増えたこと等により、売上総利益は前年同期比3.0%増の534百万円にとどまっております。また、販売費及び一般管理費は、電気化学式水素ポンプ他の新製品の開発及び水素ステーション用超高压水素圧縮機他の改良・改善開発の推進による研究開発費の増加等により、前年同期比8.2%増の565百万円となったことで、営業損失30百万円（前年同期は営業損失3百万円）、経常損失25百万円（前年同期は経常利益4百万円）、中間純損失は14百万円（前年同期は中間純利益2百万円）となりました。

下半期は、受注済みの売上予定案件と下半期受注案件及びアフターサービスの売上増により、予想通りの通期業績となる見込みです。

受注につきましては、政府の水素社会実現に向け

た「水素・燃料電池戦略ロードマップ」に基づくFCV用水素ステーション向け圧縮機を順調に受注しており、昨年度市場投入した「高効率・省エネ・省メンテナンスを追求したPETボトル成形用圧縮機」他の受注と併せて上半期は計画通りに推移しております。

下半期事業活動においても、引続き来年度案件を含めた水素関連案件、PETボトル成形用案件の販売促進と、海外向け案件の対応力強化に注力すると共に、水素社会に向けての水素関連事業用圧縮機の開発・営業の強化と、アフターサービスの領域・地域の拡大と体制強化を推進し、更に企業価値向上を追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2019年11月

代表取締役社長  
鈴木博士

## 事業の概況

## 中間貸借対照表 (2019年9月30日現在)

当中間期におけるわが国経済は、米中間の貿易摩擦の深刻化や海外経済の減速等を背景に悪化の傾向にあります。

日銀短観（2019年9月調査）によれば、2019年度の設備投資計画（全規模・全業種）は、前年度比2.4%増と小幅な上方修正となっています。一方、経常利益計画（全規模・全業種）は、前年度比6.7%減と6月調査から2.5%下方修正されており、前述した海外情勢の懸念に加え、消費増税に伴う家計消費の冷え込みの懸念や直近に発生した台風19号の影響など、今後の先行きについては内外共に多くのリスクが残存しています。

このような状況下、当中間期における当社業績は、海外市場における石油精製・石油化学案件の大口売上加え、大口の水素関連及びPETボトル成形用案件の増加等により、売上高は前年同期比11.1%増の2,391百万円となりました。水素ステーション案件を含め、受注計画についても概ね順調に推移しております。しかしながら圧縮機市場全体で競争が激化しており、採算の厳しい案件が増えたことにより、売上総利益は前年同期比3.0%増の534百万円にとどまりました。また、販売費及び一般管理費が、電気化学式水素ポンプの開発等、新製品開発の推進による研究開発費の増加等により、前年同期比8.2%増の565百万円となったことで、営業損失30百万円（前年同期は営業損失3百万円）、経常損失25百万円（前年同期は経常利益4百万円）となりました。前年度に引続き、2018年9月の台風21号により被災した工場等の修繕費用を特別損失として57百万円計上しておりますが、それに係る保険会社より提示のあった受取保険金61百万円を特別利益に計上しており、結果として中間純損失は14百万円（前年同期は中間純利益2百万円）となりました。なお、当社事業の特性上、売上高は下期に偏る傾向が強く、上記結果は当初からある程度想定しており、現状において通期業績予想の修正はありません。

(単位：千円)

資 産 の 部		金 額
科 目		
流 動 資 産		
現金及び預金		573,847
受取手形		539,365
売掛金		1,266,989
棚卸資産		1,999,556
預け金		2,400,000
その他の流動資産		250,985
貸倒引当金		△15,200
流動資産合計		7,015,544
固 定 資 産		
有形固定資産		781,024
無形固定資産		71,865
投資その他の資産		416,204
固定資産合計		1,269,095
資 産 合 計		8,284,639
負 債 の 部		
流 動 負 債		
支払手形		701,959
買掛金		534,410
短期借入金		50,000
未払法人税等		16,799
賞与引当金		139,553
受注損失引当金		195,000
その他の流動負債		234,294
流動負債合計		1,872,017
固 定 負 債		
退職給付引当金		564,263
その他の固定負債		27,130
固定負債合計		591,393
負 債 合 計		2,463,410
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		
資本金		1,440,000
資本剰余金		1,203,008
利益剰余金		3,286,776
自己株式		△108,627
株主資本合計		5,821,158
評 価 ・ 換 算 差 額 等		
繰延ヘッジ損益		70
評価・換算差額等合計		70
純 資 産 合 計		5,821,228
負 債 ・ 純 資 産 合 計		8,284,639

## 中間損益計算書 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	2,391,457
売 上 原 価	1,856,891
売 上 総 利 益	534,565
販売費及び一般管理費	565,322
営 業 損 失	△ 30,757
営 業 外 取 益	8,253
営 業 外 費 用	2,966
経 常 損 失	△ 25,470
特 別 利 益	61,380
特 別 損 失	57,708
税引前中間純損失	△ 21,798
法 人 税 等	△ 6,800
中 間 純 損 失	△ 14,998

(注) 1株当たり中間純損失(期中平均株式数による) △9円6銭

## 中間株主資本等変動計算書 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計
2019年4月1日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008
当中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			
中間純損失			
自己株式の取得			
当中間会計期間中の変動額合計			
2019年9月30日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008

	株 主 資 本					株主資本 合 計
	利 益 剰 余 金				自己株式	
	利 益 準 備 金	其 他 利 益 剰 余 金	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計		
2019年4月1日残高	141,600	625,000	2,601,388	3,367,988	△108,528	5,902,467
当中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当			△ 66,213	△ 66,213		△ 66,213
中間純損失			△ 14,998	△ 14,998		△ 14,998
自己株式の取得					△ 98	△ 98
株主資本以外の項目の当中間 会計期間中の変動額(純額)						
当中間会計期間中の変動額合計			△ 81,211	△ 81,211	△ 98	△ 81,309
2019年9月30日残高	141,600	625,000	2,520,176	3,286,776	△108,627	5,821,158

## 中間キャッシュ・フロー計算書(要旨) (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)

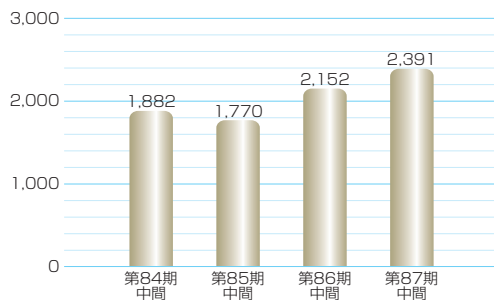
(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	87,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 65,928
現金及び現金同等物の中間期末残高	573,847

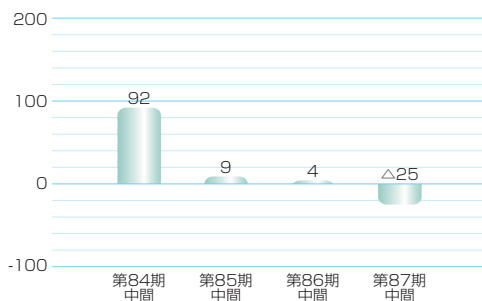
	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 計
	繰 延 税 引 負 金	評 価 差 額	換 算 差 額 等 合 計	
2019年4月1日残高	△ 271	△ 271		5,902,196
当中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△ 66,213
中間純損失				△ 14,998
自己株式の取得				△ 98
株主資本以外の項目の当中間 会計期間中の変動額(純額)	342		342	342
当中間会計期間中の変動額合計	342		342	△ 80,967
2019年9月30日残高	70		70	5,821,228

# 業績ハイライト

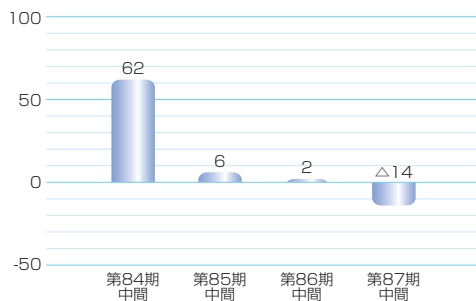
## 売上高 (単位：百万円)



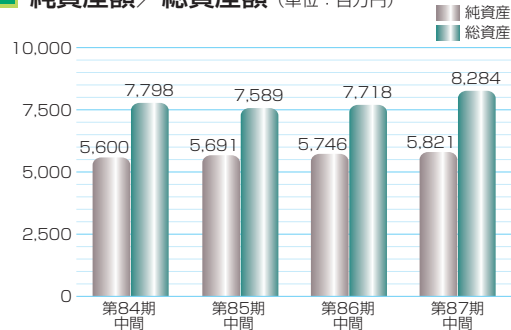
## 経常利益又は経常損失 (△) (単位：百万円)



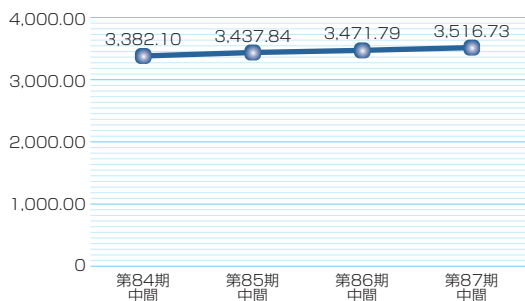
## 中間純利益又は純損失 (△) (単位：百万円)



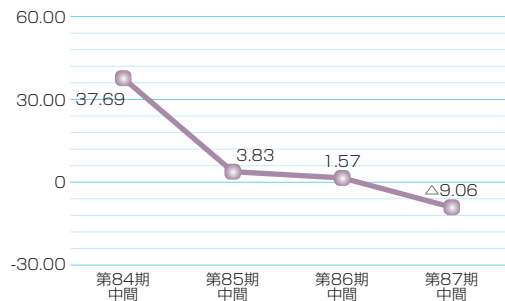
## 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



## 1株当たり純資産額 (単位：円)



## 1株当たり中間純利益又は純損失 (△) (単位：円)



※2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり純資産額、1株当たり中間純利益は当該株式併合を考慮した金額を記載しています。

## 会社の概要

社名	株式会社加地テック KAJI TECHNOLOGY CORPORATION
創立	明治38年5月(1905年)
会社設立	昭和9年2月(1934年)
資本金	14億4,000万円(東京証券取引所市場第二部上場)
製造品目	空気及びガス圧縮機 水冷・空冷式圧縮機 給油・オイルフリー・オイルレスタイプ圧縮機 石油化学・産業ガス用 電力・試験・一般産業用 PETボトル成形用 天然ガス自動車燃料充填用 燃料電池自動車燃料充填用 各種ガス回収精製装置
所在地	本社・工場 〒587-0064 大阪府堺市美原区菩提6番地 TEL: 072-361-0881 (代表) FAX: 072-362-4491 (人事総務部) 東京支社・サービスセンター 〒134-0086 東京都江戸川区臨海町3丁目6番4号 ヒューリック葛西臨海ビル4階 TEL: 03-5679-6910 (代表) FAX: 03-5679-6950

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第二部
株主名簿管理人兼特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-288-324(フリーダイヤル)
特別口座管理機関取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) [アドレス] <a href="http://www.kajitech.com">http://www.kajitech.com</a> ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。